

# 古事記編纂さん1300年を迎えて

〜出雲の魅力再発見・一人ひとりがおもてなし〜

出雲市では平成24年の古事記編纂1300年を記念して開催される「神話博しまね」や、平成25年の出雲大社「平成の大遷宮」を契機に、出雲の魅力を再発見し、訪れる方を「おもてなし」の心でお迎えする観光振興に取り組んでいます。このコーナーでは、地域で取り組むおもてなし・まちづくりを紹介します。



道の駅「キララ多伎」

『神話博しまね』が、いよいよ開幕です。道の駅「キララ多伎」などキララグループでは、この「神話博しまね」や、出雲大社の「平成の大遷宮」に向けて、今年4月に「おもてなしプロジェクト」を立ち上げ、様々な独自の取組をしています。道の駅では、正面入口に独自で作成した看板を設置したり、構内に出雲大社古代高層神殿の模型を展示したりするなどして、県内外から訪れる旅行客をもてなすとともに、県内の観光情報を積極的に発信しています。

## おもてなしプロジェクト①

### しまねっこの別荘

「神々の国しまね」公式マスコットキャラクター・島根県観光キャラクターの「しまねっこ」は、「神話博しまね」に向けてPR活動に大忙しで、さぞかし疲れているだろう。ぜひ、美しい海の見える道の駅「キララ多伎」で疲れを癒してほしい。そんな思いから、道の駅構内に、「しまねっこの別荘」を作りました。



道の駅構内の「しまねっこの別荘」

別荘には、しまねっこがくつろげるように、椅子やハンモックが設置され、また、海で楽しんでもらうための浮き輪やビーチボールも備えてあります。

しまねっこは、イベントが開催される際には、この別荘がある道の駅を訪れま

す。普段は多忙のためほとんど「お出かけ」していますが、この別荘は、しまねっこが留守の時でも、旅行客に人気の記念撮影スポットとなっています。

## おもてなしプロジェクト②

### オリジナルメニュー開発

観光客に舌でも楽しんでもらうため、さらなるオリジナルメニューの開発も取り組んでいます。

多伎の特産品であるイチジクを使ったスイーツや、しまねっこパン、ホットドッグならぬアイスドッグや、揚げたそばと地元野菜をばさんだ出雲そばバーガーなど、趣向を凝らしたメニューを続々と開発し提供しています。

## おもてなしプロジェクト③

### おもてなしキャンペン隊

「神話博しまね」や出雲大社「平成の大遷宮」によりますます多くなることが見込まれる観光客をもてなすため、「おもてなしキャンペン隊」を結成しました。

スタッフは、わかりやすい観光案内ができるよう、実際に出雲大社や須佐神社など現地を訪れて勉強会をしています。また、接遇研修を実施して、接客技術をさらに磨いています。



7月21日から開催の「神話博しまね」

主会場となる出雲全域一丸となって盛り上げていきましょう。

おたずね／観光交流推進課

☎065888

# 大好き☆出雲! vol.4 通信

～発見! 発信! とっておきの 場所・人・もの～

出雲ブランド化推進の情報を連載します。

## ～出雲の真のブランド化～

私たちが住む「出雲」をあらためて感じ、伝え、より高めていくこと。  
出雲ブランドは、この地域の身近にあるさまざまな魅力によって形づくられるもので、地域そのものとも言えます。  
また、「出雲」らしさは、これからお迎えするたくさんの来訪者への大切な「おもてなし」。  
そして、次の時代を担う子どもたちに引き継ぐ地域づくりの取組です。

## 出雲の魅力再発見の種 「人」とのお話を通して「出雲」の魅力を再認識!

出雲ブランド化推進市民委員会 人・地域グループが提案します。

地域は人。「出雲」の魅力は“ひと”にあり。人との会話を通して気付かされることは多く、「出雲」の良さを再発見させてもらえるのも「人」です。市民委員会は、インタビューを通し、多くのことを感じました。  
次は、あなたのお話を聞かせてください。

## これまでにお話しをお聞きした方々

村松 英俊さん Childs Pictures Bank代表  
青木 智美さん アートパフォーマー「そらまめびよこたん」  
横山 猛さん 須佐神社権禰宜  
飯塚 秀子さん 「出雲ロザリアンクラブ」代表

矢嶋 晃一さん パイレックスガラス工房「梵我一如」  
小村姫久美さん 『出雲bijin』サイト運営ほか  
横山茂和・徳子ご夫妻 須佐のみやげ屋「須佐屋」店主

外から見た「出雲」、ずっと住んでいると見過ごしてしまう「出雲」の魅力など、話しはいろいろなところへ展開します。インタビューをした皆さんは、ホームページでご紹介しています。

<http://www.daisuki-izumo.jp/>



「誇り」を持って、「出雲の生まれ」とか「出雲」の地名を語る事ができる。そのためには「出雲の魅力」を再発見する取組を、

出雲の真のブランド化推進の提唱のきっかけは？  
「出雲」の地名、そしてその「響き」には、私自身すごいブランド力があると思っていました。この「出雲」の地名を活かせるような活動、それこそが地域づくりだと考えています。  
モノだけで終わらない地域全体のイメージアップを図ることで、ここに住む私たち皆が「自信」と

そして、もう一人お話を聞いたのは、長岡市長です。  
(平成24年1月26日インタビューから)  
出雲の真のブランド化は、市長就任当時から思いです。インタビューを通して、市長の「出雲」への思いをお伝えします。(「大好き☆出雲!」ホームページの「市長インタビュー」にダイジェストを掲載しています。)

今後の市民委員会に期待することは？  
まずは、市民委員さんの取組がきっかけとなって、地域全体に「出雲」の再発見がもつともっと拡がることを願っています。その意味では、市の職員だけの取組ではなくここまで拡がらなかったと思います。市民委員、市職員と市民の皆さまの一人ひとりが具体的な呼びかけや行動を粘り強く徹底していくことが大切ですので、引き続き、市民委員の皆さまの協働の取組をお願いします。



インタビューの様子

市民運動として拡げることこそ、真の意味での「ブランド化」につながるものと思います。